



2025年度 履修証明プログラム（科目等履修生）募集要項

(1) 履修証明プログラムについて

履修証明プログラムは、社会人等の学生以外の者を対象とした特別の課程です。教育・研究資源を活かし一定の教育計画の下に編成された体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムで、目的・内容に応じ総時間数 60 時間以上で設定されています。プログラムの修了者には、学校教育法に基づく「履修証明書 (Certificate)」の発行を受けることができるとともに、厚生労働省が定めるジョブ・カードにその旨を記載することができる制度です。

(2) 開講プログラム

2025 年度は、「精神・発達障害者の就労と生活支援」「認知症とともに生きるを支える」「アクションと生きる人への理解とかかわり」「災害ソーシャルワークの実践と展開」の 4 コースを開講します。

(3) プログラムの修了要件

プログラムの修了には、受講期間内に総時間数 60 時間以上を修了し、各科目の試験に合格することが必要です。受講期間を超えて在学することはできません。

(4) 出願資格

以下のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
- ③ 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達した者

(5) 出願期間

出願書類の受付は、以下のとおりです。

a 期出願期間	2024 年 12 月 1 日（日）～ 2025 年 1 月 20 日（月）（消印有効）	
合格発表	2025 年 2 月 7 日（金） ※発送日となりますので、お手元に届くまでに数日かかる場合があります。	
講義資料等発送予定日	2025 年 4 月上旬	

b 期出願期間	2025 年 1 月 21 日（火）～ 2025 年 2 月 28 日（金）（消印有効）	
合格発表	2025 年 3 月 19 日（水） ※発送日となりますので、お手元に届くまでに数日かかる場合があります。	
講義資料等発送予定日	2025 年 4 月中旬	

c 期出願期間	2025 年 3 月 1 日（土）～ 2025 年 3 月 31 日（月）（消印有効）	
合格発表	2025 年 4 月 18 日（金） ※発送日となりますので、お手元に届くまでに数日かかる場合があります。	
講義資料等発送予定日	2025 年 5 月上旬	

d 期出願期間	2025 年 4 月 1 日（火）～ 2025 年 8 月 31 日（日）（消印有効）	
願書提出日	出願月の 1 日～ 15 日	出願月の 16 日～ 31 日
合格発表	出願月の 25 日※	出願月翌月の 10 日※
講義資料等発送予定日	合格発表より 2～3 週間後（目安）	

※2025 年 4 月 1 日（火）～ 2025 年 4 月 15 日（火）の期間に願書を提出された方の合格発表は 2025 年 5 月 2 日（金）になります。

※2025 年 4 月 16 日（水）～ 2025 年 4 月 30 日（水）の期間に願書を提出された方の合格発表は 2025 年 5 月 15 日（木）になります。

※出願期によっては受講できないスクーリング科目がありますので、ご注意ください（詳細は「⑥カリキュラムおよび受講料」参照）。

※合格発表は発送日となりますので、お手元に届くまでに数日かかる場合があります。

※出願期間中であっても、定員に達し次第受付終了となります。

※願書提出日により、受験可能試験期が異なります。試験期の詳細については、[2025 年度科目修了試験日程]をご参照ください。

※オンデマンド科目は 4 月以降視聴できます。b 期以降出願の方は入金を確認後、視聴することができます。

(6) 選考方法

入学選考

出願書類により書類選考を行います。筆記試験はありません。

※合否に関するお問い合わせには、一切応じません（合否の通知が無い場合は除く）。

(7) 学費等

- ① 入学選考料 10,000 円 ※出願者本人の名義で納入してください。
※学費減免の方は、振込不要です。

【入学選考料振込先】※振込手数料は各自でご負担願います。
三菱UFJ銀行 武豊支店 普通 1542132 学校法人日本福祉大学通信入試口

② 2025 年度学費

項目	金額	備考
入学金	10,000 円	
科目等履修生登録料	初年度 25,000 円	2 年目は、科目等履修生継続料として 25,000 円/年が必要です。
受講料	科目により異なる	受講料の詳細はプログラムの「⑥カリキュラムおよび受講料」参照

各プログラムの履修・学費モデルをご参照ください。

③ 学費等の減免

以下に該当する方は、入学選考料および入学金の減免対象となります。申請方法については、別紙『①-2 入学志願書』『③推薦状』を参照してください。

学費等の減免対象者	選考料	入学金
日本福祉大学の卒業生（通信教育課程正科生、大学院、中部社会事業短期大学、女子短期大学部を含む）	無料	無料
日本福祉大学附属立花高等学校、立花高等学校および日本福祉大学付属高等学校の卒業生		
日本福祉大学中央福祉専門学校および中央総合福祉専門学校、日本福祉大学高浜専門学校の卒業生		
日本福祉大学（通学課程・通信教育課程正科生、大学院、中部社会事業短期大学、女子短期大学部）に1年以上在籍していた方、または日本福祉大学通信教育課程科目等履修生・特修生として在籍していた方		減免なし (10,000円)
日本福祉大学同窓会会員・準会員（教職員・本学在學生等 [*] ）に推薦された方 ※本学所定用紙『③推薦状』の提出が必要です。 ※「本学在學生」とは、通信教育課程正科生、通学課程、大学院課程に在学している学生すべてを指します（科目等履修生・特修生や、推薦者と同一年度の入学者は対象としません）。「教職員」とは、退職された方も対象となります。		半額

※ソウェルクラブ(社会福祉法人福利厚生センター)の会員の方(本人のみ)を対象とした減免(選考料:無料、入学金:半額)もあります。詳しくは、ソウェルクラブホームページをご確認ください。

(8) 出願書類

出願書類は、黒ボールペンを使用し、各項目を不備や記入漏れのないよう作成してください。

	書類	書類番号	書類
必須	本学所定様式 ※巻末資料	① -1 ① -2 ① -3	<p>2025 年度履修証明プログラム（科目等履修生）入学志願書（学籍原簿）・在学誓書</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真欄に証明写真（裏面に氏名を記入）を貼付してください。 ※ 4cm × 3cm、正面上半身、無帽、無背景で、3 ヶ月以内に撮影のもの。 現住所欄には住民票に記載の住所ではなく、<u>本学よりお送りする郵便物を受け取れる住所をご記入ください。</u> 職種コードおよび続柄コードは、「(10)「入学志願書・在学誓書」に記載する職種コードおよび続柄コード」を参照してください。 入学選考料を納付し、払込を証明する払込受付証明書・受領書等を貼付してください。 ※出願者氏名、振込日付、振込金額・振込先が記載されていること。 ※学費減免の方は、振込不要です（振込受付証明書・受領書の貼付は必要ありません）。
		② -1 ② -2 ② -3 ② -4	<p>2025 年度履修証明プログラム（科目等履修生）履修科目登録表</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講を希望する科目に○を記入してください。 提出後は変更できません。不備のないよう記入してください。（開講科目については「科目概要」参照）。
	ご自身で準備 いただく書類	—	<p>入学資格証明書類</p> <ul style="list-style-type: none"> 高等学校等の卒業証明書（高等学校卒業程度認定試験・大学入学資格検定の合格証書を含む）、もしくは高等教育機関（専門学校、短期大学以上）の卒業・修了証明書（発行 6 ヶ月以内・コピー不可）をご提出ください。ただし、大学院の証明書ではご出願いただけません。 ※外国の学校をご卒業の場合、出願前に入学資格の確認を行います。 日本語表記か英語表記の「成績証明書」「卒業証明書」のコピーを郵送、メール添付などで通信教育部事務室までお送りください。それ以外の外国語の場合は、大使館などの公的機関で証明を受けた翻訳文を添付してください。連絡の際は、「入学資格確認希望」とし、氏名、連絡先を必ず記載してください。
		—	<p>郵便はがき</p> <ul style="list-style-type: none"> 宛名側に出願者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、切手を貼付してください。
該当者のみ	ご自身で準備 いただく書類	—	<p>姓名変更を証明する書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ① -1 に記載した氏名と、ご自身で準備いただく各提出書類に記載された氏名が異なる場合は、姓名変更を証明する書類（戸籍抄本（発行 6 ヶ月以内・コピー不可）、旧姓および現在の姓名の両方が記載されている有効期限内の運転免許証（表裏両面）や保険証のコピー等）を提出してください。
		—	<p>学費等の減免対象であることを証明する書類</p> <p>本学を卒業した、もしくは在籍していた証明として、以下の中から 1 点を提出してください。</p> <p>在籍期間証明書、成績証明書、卒業証明書、修了証明書、もしくは次のもののコピー [卒業証書（学位記）、学生証、科目等履修生証、特修生証、同窓会カード]</p>
	本学所定様式	③	<p>2025 年度 推薦状</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本福祉大学同窓会会員・準会員（教職員・本学在学学生等）の推薦がある場合は、本学所定用紙を推薦者に記入いただき提出してください。

【注意事項】

- 一度ご提出された出願書類は返しません。
- 出願書類受付後であっても、出願資格及び出願書類に誤りや虚偽等があった場合は、出願を取り消す場合があります。
- 出願書類に不備がある場合は受付できませんので、くれぐれもご注意ください。

A4 サイズの封筒に宛名ラベルを糊付けのうえ、書類を折らずに封入し、郵送してください。

不着等の事故防止のため、必ず「速達・簡易書留」で郵送してください。

(9) 手続きの流れ

① パソコン環境の準備確認

- ・学習に必要な環境が整っているかをご確認ください。
[学習に必要な情報端末や通信の環境] 参照

② 出願書類の作成 入学選考料 (10,000円)の納入

※学費減免対象の方は、振込不要です

- ・出願書類の詳細は「(8) 出願書類」にてご確認ください。
- ・入学選考料を納入してください（出願書類に振替払込受付証明書もしくは、受領書の貼付が必要です）。
※出願者本人の名義で納入してください。

【振込先】

三菱UFJ銀行 タケトヨ シ テン 武豊支店 普通 1542132
ガッコウホウジンニホンフクシダイガクツウシンニューシグチ
学校法人日本福祉大学通信入試口

- ・記載内容について、メールで確認することがあります。
E-MAIL アドレスをお持ちの方は、『①-1 入学志願書（学籍原簿）・在学誓書』内の E-MAIL 欄にご記入をお願いします。
- ※本学よりメールにてご連絡させていただく場合があります。メールのドメイン設定にて「@ml.n-fukushi.ac.jp」より送信されるメールを受信許可してください。

③ 出願書類の提出

【提出先】

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田
日本福祉大学通信教育部事務室 履修証明プログラム担当 宛

不着等の事故防止のため、必ず「速達・簡易書留」で郵送してください。

※ A4 サイズの封筒に宛名ラベルを糊付けのうえ、書類を折らずに封入し、郵送してください。

- ・一度ご提出された出願書類は返還しません。
- ・出願書類受付後であっても、出願資格及び出願書類に誤りや虚偽等があった場合は、出願を取り消す場合があります。
- ・書類に不備がある場合は、受付できませんので、くれぐれもご注意ください。

入学選考

書類選考を行います。

④ 受講手続き

選考結果の通知・学費の振込

- ・受講を許可された方には、「選考結果通知」「学費の振込用紙」を送付します。
- ・送付された「振込用紙」を使用して、金融機関の窓口から学費（入学金・受講料等）を指定期間内にお振り込みください。
※入学選考料とは振込口座が異なりますので、ATMやインターネットバンキングから振込みされる場合はご注意ください。

⑤ 学習開始・講義資料配付

- ・学習システム【nfu.jp】にログインし、学習を開始してください。
- ・「選考結果通知」から約2～3週間後（a・b期は4月上旬）に「履修証明プログラム（科目等履修生）証」と講義資料等を「現住所」にご記入いただいた住所へお送りいたします。
※勤務先には送付できませんのでご注意ください。
※「入学志願書（学籍原簿）・在学誓書」の現住所欄には、住民票に記載の住所ではなく、本学からお送りする郵便物が受け取れる住所を必ずご記入ください。

納入期限までに学費の振り込みが行われなかった場合は、入学の意思がないものとみなし、入学資格は取り消しとなります。なお、納入期限後の入金には認められませんので予めご了承ください。

(10) 「入学志願書・在学誓書」に記載する職種コードおよび続柄コード

職種コード

■教員（講師含む）	■医療・福祉	H 4：ケアマネジャー	L 2：農業協同組合職員
B 1：幼稚園教員	F 1：医師	H 5：保育士	L 3：生活協同組合職員
B 2：小学校教員	F 2：看護師	H 6：その他の医療・福祉従事者	L 4：その他団体職員
B 3：中学校教員	F 4：医療事務従事者	H 7：保育教諭	N 1：自営業（代表者）
B 4：高等学校教員	F 5：医療ソーシャルワーカー		N 2：農林漁業従事者
B 5：専門学校教員	F 6：精神科ソーシャルワーカー	■会社員	N 3：主婦・主夫
B 6：大学教員	F 7：その他医療従事者	J 1：役員・管理職	N 4：無職
B 7：その他教員	F 8：理学療法士	J 2：事務職	N 5：アルバイト・パート
B 8：教員以外の学校職員	F 9：作業療法士	J 3：営業職	N 6：その他
■公務員	H 1：社会福祉施設・団体等代表者	J 4：専門職	■学生
D 1：国家公務員	H 2：相談員・指導員	J 5：その他の会社員	P 1：大学・大学院生
D 2：地方公務員	H 3：介護職員	■その他	P 2：短大生
D 3：その他の公務員		L 1：社会福祉協議会職員	P 3：専門学校生
			P 4：その他学生

続柄コード

01：父母	02：兄弟姉妹	03：祖父母	04：叔父叔母	05：配偶者・他の親類
06：知人	07：引受人	08：その他		

(11) 学習上の注意

- インターネットを活用した学習システムで学んでいただくため、インターネットを利用できるパソコンが必要です（オンデマンド科目の視聴のみ、スマートフォンおよびタブレットなどのデジタル端末で視聴可能です）。
- ※詳細は、「学習に必要な情報端末や通信の環境」を参照してください。
- 一部のオンデマンド科目には別途講義資料等を配付します（講義資料がなくても、学習はすすめられます）。
- 履修証明プログラム（科目等履修生）は、正規の本学科目等履修生としての学習となります。他の受講生の迷惑となる行為、スクーリングの進行を妨げる行為があった場合等には、学則に従い、受講を取り消す場合があります。
- 学割の使用はできません。

【障がいのある方の出願について】

障がい、疾病、その他により、学習上の配慮が必要な場合は、あらかじめ支援の内容をご理解いただいたうえで、ご出願いただきますようお願いしています。出願前に本学で提供できる支援の内容について、大学から確認の連絡をさせていただくため、出願の1か月前までに「障がい状況票」を電子メールまたはFAX、郵送でご提出ください。

(様式の入手方法)

- 「障がい状況票」と「障がい学生のための学習の手引き」は、日本福祉大学履修証明プログラム（科目等履修生）ホームページの「パンフレット・募集要項等ダウンロード」ページよりダウンロードしてください。



学習に必要な情報端末や通信の環境

<全体注意事項>※2024年11月現在

※最新のOS・ブラウザに対しては、随時動作確認を実施する予定です。最新の情報はホームページをご確認ください。

※在学期間中のみ、Microsoft 365 Apps を無償で利用可能です。詳細は(4) 在学期間中の Microsoft 365 Apps 無償提供についてをご参照ください。

※新たにパソコンやモバイル端末の購入をお考えの方は、最新の情報をホームページでご確認の上、お近くのパソコンショップにご相談ください。

(1) ネットワーク環境

通信回線速度	ブロードバンド回線 (3Mbps 以上)
--------	----------------------

※移動体通信 (LTE、モバイル Wi-Fi 等) や Wi-Fi スポットは回線トラブルが多いため、履修登録、科目修了試験は自宅の有線・無線 LAN などの安定した環境下において実施することを推奨します (移動中の車内などの不安定な環境下では実施しないでください)。

※企業ネットワークや学内ネットワーク、また一部プロバイダなどでは、セキュリティの関係で動作しない場合があります。また、各個人で導入されているセキュリティソフトや Firewall 機能を備えたルータなどの通信機器では、難易度の高い設定が必要な場合があります。

(2) パソコン動作環境

OS 共通仕様		
ハードウェア	画面解像度	1366 × 768 ドット以上
	CPU	デュアルコア 1GHz 以上 (複数のアプリを同時に利用する際にはデュアルコア 2GHz 以上 (core i3 / i5 / i7 相当) が搭載されていると快適に動作可能)
	メモリ	8GB 以上 (複数のアプリを同時に利用する際には 16GB 以上搭載されていると快適に動作可能)
	ストレージ	64GB 以上 (256GB 以上推奨)
	その他	Web カメラ、マイク、スピーカー
ソフトウェア	・ Microsoft 365 Apps (PC インストール版) (Excel/Word 2019、2021、2024 (予定) についても動作を保証する) ・ Adobe Acrobat Reader DC (無償) 以上 ※在学期間中は Microsoft 365 Apps を無償で利用できます	
OS 別仕様		
OS	ブラウザ	
Windows 11	Microsoft Edge、Chrome	
macOS13 (Venture) macOS14 (Sonoma) macOS15 (Sequoia) (予定)	日本語 Safari	

※一部のオンデマンド科目の学習にあたっては、お使いのパソコンにおいて必要な動作環境 (OS、ソフトウェア、音源機能等) がある場合もあります。科目ホーム等を参照して準備してください。

※本学からの連絡に PDF ファイルを添付する場合がありますので、必要な動作環境をご準備ください。

(3) モバイル端末（スマートフォン、タブレット等）動作環境

機種	OS	ブラウザ
iPhone / iPad	iOS18系（予定）、iPadOS18系（予定）	日本語 Safari
Android	10系 / 11系 / 12系 / 13系 / 14系 / 15系（予定）	日本語 Google Chrome

※履修登録、科目修了試験は、モバイル端末では実施できません（タブレットでは、履修登録、科目修了試験等のボタンが表示されますが、動作保証範囲外です）。必ずパソコンで実施してください。

※ご利用のモバイル端末の接続環境や機種等によっては、正常に動作しない場合があります。

※携帯電話通信網（3G / 4G（LTE） / 5G等）は、その利用月のデータ通信量が一定量を越えると通信制限が発生し、通信速度が遅くなる場合がありますので、ご注意ください。詳細については、契約している回線業者にお問い合わせください。

(4) 在学期間中の Microsoft 365 Apps 無償提供について

本学では全学生を対象として Microsoft 365 Apps を無償で提供しています。Microsoft 365 Apps には授業に必要な Microsoft（Word、Excel、Power Point）が含まれています。入学時に新たにパソコンを購入される場合は、関連するソフトを購入していただく必要はありません。

※ Microsoft 365 Apps の無償提供について

- ①パソコン（Windows または Mac）、スマートフォン、タブレットにおいてそれぞれ5台（計15台）までインストール可能です。
- ②在学期間中のみ利用可能です（卒業後は利用できません）。

(5) オンライン（Zoom 等の Web 会議システム）の利用について

本学ではオンライン（Zoom 等）で講義や説明会等を実施しています（例：スクーリング科目の一部、履修登録説明会）。Zoom とはパソコンやスマートフォン、タブレットなどを通して複数人でのビデオ通話を可能にするサービスです。

利用にあたり、お使いのパソコンに「Web カメラ」「マイク」「スピーカー」の装備が必要となります。パソコンに内蔵されていない場合は、外付機器でも対応可能です。その他必要な動作環境については (2) パソコン動作環境をご参照の上、利用環境の整備をお願いいたします。

本学正科生へ入学する場合の単位認定について

履修証明プログラム修了後に、本学正科生への出願を希望する方は修得科目を単位認定することが可能です。修得した単位は、後に正科生として入学した場合、一定の上限まで卒業単位として認められます。認定される単位数は以下のとおりです。

入学・編入学年	科目等履修生・特修生で取得した単位の上限
1年次入学	「既修得による単位認定（30単位まで）」と合わせて60単位まで
2年次編入学	30単位まで
3年次編入学	30単位まで
4年次編入学	14単位まで

※資格試験合格等による単位認定（入学後に申請）の単位数を含みます。
詳細は「日本福祉大学通信教育部 出願手続要項」をご確認ください。

認定単位数について

(1) 精神・発達障害者の就労と生活支援

科目名	単位数
精神障害者支援論	2単位
アディクションとソーシャルワーク	2単位
発達精神病理学	2単位
権利擁護と成年後見	2単位
精神障害者と福祉実践Ⅰ	2単位
精神障害者と福祉実践Ⅱ	2単位
スクールソーシャルワークと学校現場	2単位
司法と福祉の連携とソーシャルワーク	2単位
社会保障の制度と課題	2単位
基礎から学ぶ発達障害の理解と支援	2単位
多様なニーズに応える特別支援教育	2単位
精神・発達障害者の理解と共働	2単位

(2) 認知症とともに生きるを支える

科目名	単位数
認知症の医療とケア	2単位
高齢者福祉	2単位
権利擁護と成年後見	2単位
精神障害者支援論	2単位
ケアマネジメント入門（2025年度休講）	2単位
認知症ケアと多職種連携	2単位
認知症の人と地域包括ケア	2単位
高齢者の心理（注1）	2単位
死生学（注1）	2単位

(3) アディクションと生きる人への理解とかかわり

科目名	単位数
アディクションとソーシャルワーク	2単位
ソーシャルワークの理論と方法（精神）	4単位
精神障害者支援論	2単位
アディクション領域における経験を有する援助者の支援論	2単位
精神障害者と福祉実践Ⅰ	2単位
精神障害者と福祉実践Ⅱ	2単位
司法と福祉の連携とソーシャルワーク	2単位
アディクションと生きる社会を考える	2単位
精神医学からみたアディクション（注1）	2単位

(4) 災害ソーシャルワークの実践と展開

科目名	単位数
地域福祉と包括的支援体制	4単位
ヒューマンケアのための多職種連携	2単位
ふくしと減災コミュニティ	2単位
福祉現場の人材養成（2026年度休講）	2単位
単身世帯と社会政策	2単位
地域福祉と災害ソーシャルワーク	2単位
被災者支援と福祉防災に向けた実践演習	2単位
環境論（注1）	2単位
災害復興のための制度と法（注1）	2単位

（注1）履修証明プログラムの時間数の合計には含まませんが、履修を推奨する科目です

詳細は「日本福祉大学通信教育部 出願手続要項」をご確認ください。

アディクションと生きる人への理解とかかわり

① プログラムの目的

何かに依存すること、何かにハマることは、決して意味のないことではなく、むしろそれがあるからこそ、その人を何とか支えてきているものとしてもとらえることができる。しかし、そのことが社会生活への影響を及ぼし「自分らしく生きられない」状況に陥ったとき、かかわりが必要な状態となる。アディクション（嗜癖）は、物質の依存（アルコール、薬など）と行動嗜癖（ギャンブル、ネット、ゲームなど）を包含する言葉であり、「病気」という概念にとどまらない、さまざまな依存行動があり、その社会生活への影響とともに、その行動の必要性を理解する必要がある。

2010年代以降、わが国は、アルコール健康障害対策基本法施行（2014年）、薬物使用等の罪を犯した者の刑の一部の執行猶予に関する法律（2016年）、厚生労働省の依存症対策全国拠点機関設置運営事業・依存症対策総合支援事業（2017年）、ギャンブル等依存症対策基本法（2018年）と次々と依存症対策の施策を講じている。

そのことにより治療や支援の枠組み形成が各地で取り組まれているが、一方で、いまだに治療や支援にかかわる専門職の中では「アディクションは難しい」「支援対象ではない」といった拒否感や忌避感情が根強い。そのことにより、必要な社会資源にアクセスすることが阻害されており、アディクションと向き合っていく機会を失っている。どこに相談に行ってもよいかわからない、勇気を振り絞って相談に行っても、相談にも乗ってもらえない、この現状を変えていくために治療や支援を担う専門職の養成は急務である。それとともに、アディクションと生きる人の理解とその多様性を認める社会の構築も求められる。

本プログラムでは、アディクションを「病気」という一側面のとらえ方にとどまらず、さまざまな視点からその行動の意味付けを行い、アディクションと生きる人やその家族への理解とかかわりの力量をもった専門職を養成する。そして、そのことは、多様性を認める社会へとつながっていくことを共有していくプログラムとしたい。

② 担当者 田中和彦

③ 受講対象者

アディクションにかかわるソーシャルワーカー等の対人支援専門職、回復施設スタッフ、アディクションに関心をもつ方。

④ 募集定員 20名 ※定員に達し次第受付を終了します。

⑤ 受講期間

2025年4月1日（火）～2027年3月31日（水）【最長2年間受講可能】

※2年目は継続料（25,000円／年）および履修する科目の受講料が必要です。

※プログラムの修了には、受講期間内に総時間数60時間以上を修了し、各科目の試験に合格することが必要です。

2年間を超えて在学することはできません。なお、開講科目の履修は1年ごとに行います。

⑥ カリキュラムおよび受講料

下記の科目から必修科目を含む合計 60 時間以上を履修すること

科目名	担当教員	開講形態	時間数 (h)	受講料 (円)	開講日	開講地	会場
選択 精神医学からみたアディクション (注1)	常岡俊昭	T	—	12,400	—	—	—
必修 アディクションとソーシャルワーク	田中和彦	O	11.25	12,400	—	—	—
選択 ソーシャルワークの理論と方法 (精神)	田中和彦	O	22.5	24,800	—	—	—
選択 精神障害者支援論	青木聖久	O	11.25	12,400	—	—	—
選択 アディクション領域における経験を有する援助者の支援論	市川岳仁	O	11.25	12,400	—	—	—
選択 精神障害者と福祉実践 I	青木聖久	S	17.5	17,400	5月17日(土)～5月18日(日) ※4月16日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館
					10月11日(土)～10月12日(日)	名古屋	明治安田生命名古屋ビル
選択 精神障害者と福祉実践 II	田中和彦	S	17.5	17,400	7月26日(土)～7月27日(日) ※7月1日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館
					11月1日(土)～11月2日(日)	オンライン	Zoom
選択 司法と福祉の連携とソーシャルワーク	鷺野明美	S	17.5	17,400	9月13日(土)～9月14日(日) ※8月16日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom
					11月1日(土)～11月2日(日)	東京	ビジョンセンター東京京橋
必修 アディクションと生きる社会を考える (注2)	田中和彦	S	17.5	27,400	1月17日(土)～1月18日(日)	名古屋	ウインクあいち

(注1) 履修証明プログラムの時間数の合計には含まませんが、履修を推奨する科目です

(注2) 履修要件有、クラス制開講科目

※**必修**：必修科目 **選択**：選択科目

※開講形態 T：テキスト科目、O：オンデマンド科目 (e-learning)、S：スクーリング科目

※同一科目で複数日程がある場合は、いずれかの日程を選択して履修してください。

※スクーリング受講時間：1日目9：00～19：40、2日目9：00～18：25

「アディクションと生きる社会を考える」を受講するには、以下の履修要件を満たす必要があります。

1. アディクションにかかわるソーシャルワーカー等の対人支援専門職、回復施設スタッフ、アディクションに関心をもつ方を対象にする。
2. 事前レポートとして「アディクションのある人へのかかわりの必要性についてソーシャルワークの視点から論じた上で自身の支援者としての課題を述べなさい。」というテーマで1200字程度のレポートの提出を求める。※期日については、入学後に別途掲示します。

<履修・学費モデル> (科目選択の一例)

科目名	開講形態	時間数 (h)	受講料 (円)	受講料 (入学選考料・入学金は含みません)
必修 アディクションとソーシャルワーク	O	11.25	12,400	82,000 円)
選択 精神障害者支援論	O	11.25	12,400	
選択 アディクション領域における経験を有する援助者の支援論	O	11.25	12,400	
選択 司法と福祉の連携とソーシャルワーク	S	17.5	17,400	※選択する科目によって異なります。 ※別途、科目等履修生登録料(25,000円/年)がかかります。
必修 アディクションと生きる社会を考える	S	17.5	27,400	
	計	68.75	右記を参照	

⑦ 2025 年度科目修了試験日程

春期試験	受験可能時間…10:00～21:00	試験結果通知日：7月4日(金)	
第1週目	試験申込期間：2025年4月1日(火)～6月2日(月)		
6月7日(土)	アディクション領域における経験を有する援助者の支援論		
6月8日(日)	ソーシャルワークの理論と方法(精神)	精神医学からみたアディクション	精神障害者支援論
第2週目	試験申込期間：2025年4月1日(土)～6月9日(月)		
6月15日(土)	アディクションとソーシャルワーク		

夏期試験日	受験可能時間…10:00～21:00	試験結果通知日：9月3日(水)	
第1週目	試験申込期間：2025年7月7日(月)～7月28日(月)		
8月2日(土)	アディクションとソーシャルワーク		
第2週目	試験申込期間：2025年7月7日(月)～8月4日(月)		
8月9日(土)	ソーシャルワークの理論と方法(精神)	精神障害者支援論	
8月10日(日)	アディクション領域における経験を有する援助者の支援論	精神医学からみたアディクション	

秋期試験日	受験可能時間…10:00～21:00	試験結果通知日：12月12日(金)	
第1週目	試験申込期間：2025年10月1日(水)～11月4日(火)		
11月8日(土)	精神医学からみたアディクション		
11月9日(日)	アディクション領域における経験を有する援助者の支援論	アディクションとソーシャルワーク	
第2週目	試験申込期間：2025年10月1日(水)～11月10日(月)		
11月16日(日)	ソーシャルワークの理論と方法(精神)	精神障害者支援論	

冬期試験日	受験可能時間…10:00～21:00	試験結果通知日：2026年3月2日(月)	
第1週目	試験申込期間：2025年12月13日(土)～2026年1月26日(月)		
1月31日(土)	ソーシャルワークの理論と方法(精神)	精神障害者支援論	
第2週目	試験申込期間：2025年12月13日(土)～2026年2月2日(月)		
2月7日(土)	アディクションとソーシャルワーク	アディクション領域における経験を有する援助者の支援論	精神医学からみたアディクション

※この試験時間割は予定です。都合により変更となることがあります。

※試験は科目ごとに年4回行われ、いずれかの試験時期を選ぶことができます。棄権や不合格だった場合は、次回以降、1回のみ再受験の機会がありますが、冬期試験が初めての受験の場合は、再受験は認められません。試験を受験し、1回合格すれば、年度末に時間数が認定されます。

※1科目の実施時間は60分間です。試験を開始してから60分経った時点で自動的に提出、終了となります。

※スクーリング科目の科目修了試験はすべて、後日にレポートを提出していただきます。

科目概要

必：必修科目です。

【アディクションと生きる人への理解とかかわり】

※科目概要の内容は2024年度時点のものとなります。2025年度の内容への更新は1月上旬を予定しています。

科目名	精神医学からみたアディクション	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	常岡俊昭		
※時間数に含みませんが履修推奨科目です					
テーマ 「アディクション治療」の実態を知り、持続可能な介入方法を模索していく					
科目のねらい 精神医学において「アディクション治療」はここ数年で革命が起きている。底つき体験が必須と言われたアルコール依存症治療にも、早期発見・早期介入の必要性が指摘されている。処方薬依存・市販薬依存の問題は、薬物依存症を司法の範疇と考えることを不可能にした。ギャンブル障害など精神医学の重箱の隅でほとんど誰も認識していなかった疾患が、IR法案によってアルコールや薬物とならぶ依存症として治療の必要性が広まった。また、これらのアディクション問題には、うつ病・統合失調症・発達障害など多くの一般精神科が対象としてきた疾患が合併することが明らかになってきた。これら「依存症／アディクション」の治療対象の変化・広がりは、今まで専門病院だけで人知れず行われていた依存症治療を、一般精神科病院でも最低限は行わざるを得ないものへと変化させた。またSBIRTS（エスパーツ：Screening：飲酒スクリーニングテスト、Brief Intervention：簡易介入、Referral Treatment：専門医療機関、Self-help group 自助グループ）に代表される医療機関と自助グループの連携の必要性も再度指摘されている。一方で、すべての医師・病院が革命に対応できているわけではなく、対応できるか否かは医師やPSWなど個人の動きに頼っている部分も大きい。本講義の目的は、専門病院でない精神科病院であっても、地域資源が不足している地域であっても、その場その場で持続可能なアディクションへの最低限の介入方法を自ら模索・構築できる能力を育成することにある。					
科目名	アディクションとソーシャルワーク 必	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	田中和彦		
テーマ アディクションからの回復とそのためのソーシャルワークについて考察を深めていく。					
科目のねらい 「何かに依存している」という言葉は、ネガティブな印象をもって語られることが多く、支援の現場においても表面的な問題の対処に苦慮し、結果として医療・保健・福祉の領域で「依存症は難しい」「依存症にはかかわりたくない」という忌避感情の強い現状がある。しかしアルコール健康障害対策基本法施行（2014年）、薬物使用等の罪を犯した者に対する刑の一部執行猶予に関する法律施行（2016年）、ギャンブル等依存症対策基本法（2018年）、精神保健福祉士養成課程の養成の在り方等に関する検討会中間報告書における依存症支援体制整備の必要性（2019年）というように、依存症対策及び依存症への支援の必要性は広がりをみせ、ソーシャルワークにおいても実践の質の向上が急務である。本講義では依存症をアルコールや薬物の物質依存にとどまらず、行動嗜癖を含んだより幅広い概念である「アディクション」ととらえ、アディクションに対するソーシャルワークの視点とアセスメント、支援の方法について講義し、アディクションからの回復と回復へのかかわりについて考察を深めていく。 ●精神科医療機関（診療所）で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉やソーシャルワークに関する講義を行う。					
科目名	ソーシャルワークの理論と方法（精神）	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	田中和彦		
テーマ 精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する					
科目のねらい 精神障害者及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークとは何か、その課題をもつ人とその家族や周囲の人間関係、地域との関係、社会構造との関係を理解し、ソーシャルワーク実践の必要性と方法について学ぶ。さらには、地域移行・地域定着支援、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに資する精神保健福祉士となるために、多職種連携、多機関連携について理解を深めるとともに、ソーシャルアドミニストレーションについても理解を深めていく。精神保健福祉分野は多岐にわたり、隣接他領域でのソーシャルワークも必要性が高まっている。どのような分野でもソーシャルワークの思考に基づいた実践ができるソーシャルワーク専門職としての精神保健福祉士となるように、基盤となる理論、方法、実践の展開を連続的に理解する。					
科目名	精神障害者支援論	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	青木聖久		
テーマ 精神障害者が社会においてよりよく暮らすにあたって、その支援のあり方を学ぶ					
科目のねらい 本講義では、精神障害者が社会において、よりよく暮らすにあたって、その支援のあり方を学ぶものである。ちなみに、2011年の障害者基本法の改正において、発達障害者が精神障害者の中に含まれることになった。そのことから、本科目で精神障害者と言う場合、発達障害者も含むものである。まず、精神障害者がいかなる社会的支援を活用することによって、等身大の暮らしが実現するかについて考える。とはいえ、「精神障害者」という用語そのものが多様な解釈がなされることから、障害による特徴や課題を提示する。また、精神障害の有無に限らず、人が生き生きと暮らすにあたって、「働く」ということが重要となるため、その関係を示しつつ、一方で、就労支援等についても実践的に迫る。さらに、社会保障制度、とりわけ経済的支援について、生活支援にからめつつ、具体の諸制度を紹介しながら、精神障害者の暮らしについて検討する。そして、精神障害者の「働く」を含めた暮らしの実際や経済的支援等を通して、生活支援とは何か、を明らかにすることが本講義の目的である。 ●精神科を持つ病院や福祉施設で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉に関する講義を行う。					

科目名	アディクション領域における経験を有する援助者の支援論	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	市川岳仁		
<p>テーマ アディクションのリカバリー当事者による援助者の支援論</p> <p>科目のねらい アディクションからの回復においては、セルフヘルプが大きな役割を果たすと言われている。かつて治療や援助の客体（対象）でしかなかったアディクトが、セルフヘルプの関係性の中で、ある種の援助役割を獲得しながら主体的に人生を再著述していく姿はダイナミックであり、感動的である。そして、当事者性（経験）を生かした援助の仕事に就く人も多い。だが、当事者としての経験は、それだけを以って十分とは言えない。クライアントの多様性を担保するためにも、自分自身が多様性に関われる必要がある。この講義では、リカバリー当事者が援助者として機能する際に経験する「欲び」「葛藤」「変容」について、その過程を事例で示しつつ、「学び」を通じた多元的自己発展について論じる。</p>					
科目名	精神障害者と福祉実践Ⅰ	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	青木聖久		
<p>テーマ 当事者の生の声等を通して、精神障害者のことを理解すると共に、社会福祉実践について学ぶ</p> <p>科目のねらい 本科目では、統合失調症を中心にして、精神障害者のことを様々な側面から知ることを目指す。そこで、精神障害者や家族が、これまでどのようなプロセスを辿り「いま・ここに」いるのかや、いかなる社会的背景のなかで暮らしているのかについて、着眼する。また、精神保健福祉士が、どのような魅力と可能性を有する専門職であるのかについても、第一線で活躍している者の話等を通して、理解を深めることを目指すものである。さらに、「自分が精神保健福祉士になる・精神保健福祉士を活用する」等、様々な「自分及び自分たちができること」について考える機会とする。そして、精神障害者や家族に対する実践的な支援のあり方について学ぶことを目的とするものである。 ●精神科を持つ病院や福祉施設で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉に関する講義を行う。</p>					
科目名	精神障害者と福祉実践Ⅱ	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	田中和彦		
<p>テーマ 当事者、実践者、科目担当者の講義等を通して、メンタルヘルズ課題におけるソーシャルワーク実践への理解を深める</p> <p>科目のねらい 本科目は「精神障害者と福祉実践Ⅰ」の発展科目である。「精神障害者と福祉実践Ⅰ」では、精神障害者の置かれている現状と課題に対する福祉の視座からの理解、そして精神保健福祉士の実践について学んできた。本科目は、さらにウイングを広げ、メンタルヘルズの課題について理解していくとともに、メンタルヘルズ課題に対するソーシャルワークがどのようにあるべきかを深めていく。そのことで、メンタルヘルズ課題とそれを取り巻く社会のありようを精神保健福祉の共通的な課題として言語化していくとともに、ソーシャルワークの視点を醸成していくことを目指していく。 ●精神科医療機関（診療所）で精神保健福祉士として勤務した経験のある教員が、精神保健福祉やソーシャルワークに関する講義を行う。</p>					
科目名	司法と福祉の連携とソーシャルワーク 必	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	鷺野明美		
<p>テーマ 刑事司法の理念と仕組み、罪に問われた人を支える司法と福祉の連携、ならびに、様々な立場におけるソーシャルワーク実践のあり方について学ぶ</p> <p>科目のねらい 近年、罪に問われた高齢者、障がい者等への福祉的支援の必要性と重要性が認識され、司法と福祉の連携による支援が進められている。これに伴い、刑事司法分野等へのソーシャルワーク専門職の配置が進み、新たな領域でのソーシャルワーク実践が行われてきた。罪に問われた人たちの社会復帰を支えるには、これら司法分野のソーシャルワーカーの実践に加え、地域で活動するソーシャルワーカー、さらには、住民、保健・医療・福祉・教育等の関係機関との連携による支援が必要不可欠である。この講義では、刑事司法の理念と仕組み、罪に問われた人を支える司法と福祉の連携、ならびに、様々な立場におけるソーシャルワーク実践のあり方について、ドイツにおける取り組みも参考にしながら学ぶことを目的とする。</p>					
科目名	アディクションと生きる社会を考える 必	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	田中和彦		
<p>テーマ アディクションをもつ人と共に生きる社会のためにソーシャルワークが何をすべきかを考察する</p> <p>科目のねらい 「アディクションをもつ人のかかわりは難しい」と言われることが多くあるが、本当にそうなのだろうか。そうだとしたら、何が困難であり、私たちは何に困っているのか。そして本当に困っているのは誰なのだろうか。本科目はそのような問いを常に意識したい。2010年代に入ってから、アルコール健康障害対策基本法をはじめとする依存症に関する法制度が整備されつつあり、特にアルコール依存症、薬物依存症、ギャンブル等依存症を中心に依存症対策として国や都道府県レベルで取り組まれるようになってきた。しかし、いまだ治療や支援にかかわる機関や専門職の中には、アディクションへの忌避感情が根強く残っている。繰り返される「支援者から見た」不健康な行為、アディクションをもつ人の治療や支援に対する抵抗や拒否、否認の感情に向き合う支援者たちは、「私たちがかわかって何も変わらないのではないか」という無力感にさいなまれる。本科目では、ソーシャルワークのミクロ・メゾ・マクロの視点を用い、その行動の意味を理解する視点の獲得と、かかわり、地域におけるネットワーク形成、回復者との協働、社会政策のあり方について議論していく。そしてアディクションをもつ人と共に生きる社会のためにソーシャルワークが何をすべきかを考察する。</p>					

出願に関するお問い合わせ先

連絡先	連絡方法
通信教育部事務室	〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 電子メール：tsqa@ml.n-fukushi.ac.jp TEL：0569-87-2932（平日 9:30～17:00）

※本学ホームページに、履修証明プログラム（科目等履修生）に関するQ & Aがありますので、そちらもご確認ください。

※本学よりメールにてご連絡をさせていただく場合がございます。メールのドメイン設定にて「@ml.n-fukushi.ac.jp」より送信されるメールを受信許可していただきますようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

出願者の住所、氏名、その他の個人情報については、以下の目的にのみ利用し、本人の承諾なしに、第三者に開示・提供することはありません。

ただし、本学が個人情報保護における安全管理等を十分に確認したうえで、業務委託先に個人情報を開示・提供する場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、この場合においても、個人情報は本学が明示する目的のみに使用し、委託した業務内容を超えて利用することはありません。

（利用目的）

- ・入学試験、合格発表、入学手続き業務に伴う利用
- ・入学後の学務業務に伴う利用
- ・入学試験および入学後に行う各種統計処理に伴う利用
- ・入学後の広報業務（情報提供）に伴う利用

日本福祉大学通信教育部

福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 日本福祉大学 通信教育部事務室

TEL：0569-87-2932 FAX：0569-87-2308

URL：<https://www.nfu.ne.jp/>

(R25-000-01)

2025年度 履修証明プログラム(科目等履修生)入学志願書(学籍原簿)・在学誓書

①-1

日本福祉大学福祉経営学部 (通信教育)

学籍番号 (記入不要)	2	5							受験番号 (記入不要)	25
----------------	---	---	--	--	--	--	--	--	----------------	----

必要事項を記入してください。該当する以下の箇所に☑をつけてください。

受講希望の履修証明プログラム	<input type="checkbox"/> 精神・発達障害者の就労と生活支援
	<input type="checkbox"/> 認知症とともに生きるを支える
	<input type="checkbox"/> アディクションと生きる人への理解とかかわり
	<input type="checkbox"/> 災害ソーシャルワークの実践と展開

(誓約内容)

日本福祉大学学長 殿

1. 私は貴大学へ入学のうへは、学則を守り、学生の本分に違反しないことを誓約いたします。
(本学学習システム (nfu.jp) 上での情報伝達を大学からの公式連絡・通知として常時確認します)

証明写真貼付

- 縦 4 cm × 横 3 cm
- 正面上半身、無帽、背景なしで 3 ヶ月以内撮影のもの
- 裏面に氏名を記入して貼付

※本学使用欄【学歴コード】

--

フリガナ							印 必須	生年月日			
氏名 (一般的な文字で記入)	姓					名		西暦	年 月 日		
旧字体等での登録を希望する場合はその漢字を記入する	姓					名		性別	男 ・ 女		
ローマ字(大文字)											
現住所	〒						国名(海外の場合のみ記入)				
	フリガナ 都 道 府 県										
連絡先	TEL () - ()						携帯電話番号 () - ()				
	E-MAIL () @ ()						※本学よりメールにてご連絡をさせていただく場合がございます。メールのドメイン設定にて「@ml.n-fukushi.ac.jp」より送信されるメールを受信許可していただきますようお願いいたします。				
勤務先	名称						部署名など				
	〒						TEL () - ()				
	職種						職種コード				
本人以外の緊急連絡先	フリガナ					続柄	続柄コード	TEL () - ()			
	氏名										
学歴	西暦	年	月	高等学校			卒業	退学	卒業見込		
		年	月				卒業	退学	卒業見込		
		年	月				卒業	退学	卒業見込		
		年	月				卒業	退学	卒業見込		
		年	月	大学入学資格検定または高等学校卒業程度認定試験合格							

保証人記入欄 (18歳未満の未成年者のみ要記入・保証人直筆記入)

志願者の在学中の一切の事項について責任を負います。

フリガナ
保証人氏名 _____ 印

〒 _____

保証人現住所 _____

電話番号 () - () _____

志願者との続柄
続柄コード

2025年度 履修証明プログラム(科目等履修生)入学志願書(学籍原簿)・在学誓書

①-2

日本福祉大学福祉経営学部 (通信教育)

※は記入しないでください。

※学籍番号	25	※受験番号	25
-------	----	-------	----

氏名	
----	--

※日本福祉大学での旧学籍番号(学費減免コード1、4の方)

--	--	--	--

【学費減免コード】該当する番号に○を付けてください。

※入学選考料 10,000 円を振込後、証明書・受領書を貼付してください。

0	以下のいずれの学費減免対象にも該当しない方
----------	-----------------------

※学費減免対象者の方は、入学選考料の振込は不要です。

1	日本福祉大学(通学および通信教育課程の正科生、大学院、中部社会事業短期大学、女子短期大学部を含む)の在学学生、卒業生
2	日本福祉大学付属高等学校(日本福祉大学附属立花高等学校、立花高等学校を含む)の卒業生
3	日本福祉大学中央福祉専門学校(中央総合福祉専門学校、日本福祉大学高浜専門学校含む)の在学学生、卒業生
4	日本福祉大学(通学課程・通信教育課程正科生、大学院、中部社会事業短期大学、女子短期大学部)に1年以上在籍していた方 日本福祉大学通信教育課程 科目等履修生(幼保特例プログラムも含む)・特修生に在籍していた方
5	日本福祉大学同窓会会員・準会員(教職員・本学在学学生等)に推薦された方は③「推薦状」も提出してください。

【推薦者データ】 推薦状がある場合は必ず記入してください。※科目等履修生は推薦者に該当しません。

氏名		番号	同窓会 ID または在籍時学籍番号
----	--	----	-------------------

【2025年度入学選考料振替払込受付証明書貼付欄】 ※コード④に該当する方は必ず貼付してください。

入学選考料(10,000円)振替払込受付証明書・受領書を貼付してください。

学費減免コード①～⑤に該当する方は、入学選考料は無料です(貼付の必要はありません)。

(注1) 必要事項 ここに貼付する証明書には以下の項目が記載されていること。

・振込日付・志願者氏名・振込金額(10,000円)・振込先(学校法人日本福祉大学)

(注2) ・ATMの場合 入金手続の際に発行される「受領書」等を貼付してください。

・インターネットバンキングの場合 振り込みを完了したことがわかる画面、(注1)の必要事項が記載されている画面を印刷した用紙を貼付してください。

(注3) 入学選考料(10,000円)のみお振り込みください。学費の支払は別途となります。

【入学選考料振込先】 ※振込手数料は各自でご負担願います。

三菱 UFJ 銀行 ^{タケトヨ} 武豊支店 普通 1542132 ^{ガッコウホウジンニホンフクシダイガクツウシンニュウシグチ} 学校法人日本福祉大学通信入試口

※本学記入欄

全体✓	1✓	2✓
-----	----	----

2025年度 履修証明プログラム(科目等履修生)履修科目登録表

②-1

※は記入しないでください。

※学籍番号		※受験番号	25
-------	--	-------	----

氏名	
----	--

【精神・発達障害者の就労と生活支援】

受講する科目の登録欄に○を付け、合計時間数をご記入ください。

	科目名	開講形態	時間数(h)	受講料(円)	開講日	開講地	会場	登録欄
必修	精神障害者支援論	O	11.25	12,400	—	—	—	
選択	アディクションとソーシャルワーク	O	11.25	12,400	—	—	—	
選択	発達精神病理学	O	11.25	12,400	—	—	—	
選択	権利擁護と成年後見	O	11.25	12,400	—	—	—	
選択	精神障害者と福祉実践 I	S	17.5	17,400	5月17日(土)～5月18日(日) ※4月16日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館	
					10月11日(土)～10月12日(日)	名古屋	明治安田生命名古屋ビル	
選択	精神障害者と福祉実践 II	S	17.5	17,400	7月26日(土)～7月27日(日) ※7月1日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館	
					11月1日(土)～11月2日(日)	オンライン	Zoom	
選択	スクールソーシャルワークと学校現場	S	17.5	17,400	7月5日(土)～7月6日(日) ※6月16日以降に出願の方は申込できません。	名古屋	明治安田生命名古屋ビル	
					11月22日(土)～11月23日(日)	高松	香川県社会福祉総合センター	
選択	司法と福祉の連携とソーシャルワーク	S	17.5	17,400	9月13日(土)～9月14日(日) ※8月16日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom	
					11月1日(土)～11月2日(日)	東京	ビジョンセンター東京京橋	
選択	社会保障の制度と課題	S	17.5	17,400	6月21日(土)～6月22日(日) ※6月1日以降に出願の方は申込できません。	東京	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	
					7月26日(土)～7月27日(日) ※7月1日以降に出願の方は申込できません。	福岡	福岡県中小企業振興センター	
選択	基礎から学ぶ発達障害の理解と支援	S	17.5	17,400	7月5日(土)～7月6日(日) ※6月16日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom	
					10月4日(土)～10月5日(日)	大阪	新大阪丸ビル別館	
					1月10日(土)～1月11日(日)	名古屋	明治安田生命名古屋ビル(予定)	
選択	多様なニーズに応える特別支援教育	S	17.5	17,400	5月24日(土)～5月25日(日) ※5月1日以降に出願の方は申込できません。	名古屋	明治安田生命名古屋ビル	
					9月6日(土)～9月7日(日) ※8月15日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom	
					9月20日(土)～9月21日(日) ※9月1日以降に出願の方は申込できません。	神戸	神戸ファッションマート	
必修	精神・発達障害者の理解と共働(注1)	S	17.5	27,400	1月17日(土)～1月18日(日)	名古屋	ウインクあいち	

履修証明プログラムを終了するには、合計 60 時間以上の履修が必要となります。60 時間以上を満たしていない場合は、次年度に不足時間分の履修が必要となります。

合計時間数 (登録欄に○をつけた科目の合計時間数を記入ください)	時間
-------------------------------------	----

(注1) 履修要件があります。履修要件については募集要項をご確認ください。クラス制開講科目となります。

※**必修**：必修科目 **選択**：選択科目

※開講形態 O：オンデマンド科目(e-learning)、S：スクーリング科目

※同一科目で複数日程がある場合は、いずれかの日程を選択して履修してください。

※スクーリング受講時間：1日目9：00～19：40、2日目9：00～18：25

2025年度 履修証明プログラム (科目等履修生) 履修科目登録表

2-2

※は記入しないでください。

※学籍番号		※受験番号	25
-------	--	-------	----

氏名	
----	--

【認知症とともに生きるを支える】

受講する科目の登録欄に○を付け、合計時間数をご記入ください。

科目名	開講形態	時間数 (h)	受講料 (円)	開講日	開講地	会場	登録欄
<input type="checkbox"/> 選択 高齢者の心理※1	T	—	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/> 選択 死生学※1	T	—	12,400	—	—	—	
<input checked="" type="checkbox"/> 必修 認知症の医療とケア	O	11.25	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/> 選択 高齢者福祉	O	11.25	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/> 選択 権利擁護と成年後見	O	11.25	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/> 選択 精神障害者支援論	O	11.25	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/> 選択 ケアマネジメント入門 (隔年開講)	S	17.5	17,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/> 選択 認知症ケアと多職種連携	S	17.5	17,400	5月17日(土)～5月18日(日) ※4月16日以降に出願の方は申込できません。	名古屋	明治安田生命名古屋ビル	
				7月12日(土)～7月13日(日) ※6月15日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom	
<input checked="" type="checkbox"/> 必修 認知症の人と地域包括ケア(注1)	S	17.5	27,400	6月28日(土)～6月29日(日) ※4月1日以降に出願の方は申込できません。	名古屋	ウインクあいち	

※1 履修証明の時間数の合計には含まませんが、履修を推奨する科目です

履修証明プログラムを終了するには、合計 60 時間以上の履修が必要となります。60 時間以上を満たしていない場合は、次年度に不足時間分の履修が必要となります。

合計時間数 (登録欄に○をつけた科目の合計時間数を記入ください)	時間
-------------------------------------	----

(注1) 履修要件があります。履修要件については募集要項をご確認ください。クラス制開講科目となります。2025年4月1日(火)以降に出願する方は、必修科目「認知症の人と地域包括ケア」を2025年度中に履修できません。プログラムの修了に必ず2年かかりますので、ご注意ください。

※**必修**：必修科目 **選択**：選択科目

※開講形態 T：テキスト科目、O：オンデマンド科目 (e-learning)、S：スクーリング科目

※同一科目で複数日程がある場合は、いずれかの日程を選択して履修してください。

※スクーリング受講時間：1日目9：00～19：40、2日目9：00～18：25

2025年度 履修証明プログラム (科目等履修生) 履修科目登録表

②-3

※は記入しないでください。

※学籍番号		※受験番号	25
-------	--	-------	----

氏名	
----	--

【アクションと生きる人への理解とかかわり】

受講する科目の登録欄に○を付け、合計時間数をご記入ください。

	科目名	開講形態	時間数 (h)	受講料 (円)	開講日	開講地	会場	登録欄
<input type="checkbox"/>	精神医学からみたアクション※1	T	—	12,400	—	—	—	
<input checked="" type="checkbox"/>	アクションとソーシャルワーク	O	11.25	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法 (精神)	O	22.5	24,800	—	—	—	
<input type="checkbox"/>	精神障害者支援論	O	11.25	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/>	アクション領域における経験を有する援助者の支援論	O	11.25	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/>	精神障害者と福祉実践 I	S	17.5	17,400	5月17日(土)～5月18日(日) ※4月16日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館	
					10月11日(土)～10月12日(日)	名古屋	明治安田生命名古屋ビル	
<input type="checkbox"/>	精神障害者と福祉実践 II	S	17.5	17,400	7月26日(土)～7月27日(日) ※7月1日以降に出願の方は申込できません。	大阪	新大阪丸ビル別館	
					11月1日(土)～11月2日(日)	オンライン	Zoom	
<input type="checkbox"/>	司法と福祉の連携とソーシャルワーク	S	17.5	17,400	9月13日(土)～9月14日(日) ※8月16日以降に出願の方は申込できません。	オンライン	Zoom	
					11月1日(土)～11月2日(日)	東京	ビジョンセンター東京京橋	
<input checked="" type="checkbox"/>	アクションと生きる社会を考える (注1)	S	17.5	27,400	1月17日(土)～1月18日(日)	名古屋	ウインクあいち	

※1 履修証明の時間数の合計には含まませんが、履修を推奨する科目です

履修証明プログラムを終了するには、合計 60 時間以上の履修が必要となります。60 時間以上を満たしていない場合は、次年度に不足時間分の履修が必要となります。

合計時間数 (登録欄に○をつけた科目の合計時間数を記入ください)	時間
-------------------------------------	----

(注1) 履修要件があります。履修要件については募集要項をご確認ください。クラス制開講科目となります。

※**必修**：必修科目 **選択**：選択科目

※開講形態 T：テキスト科目、O：オンデマンド科目 (e-learning)、S：スクーリング科目

※同一科目で複数日程がある場合は、いずれかの日程を選択して履修してください。

※スクーリング受講時間：1 日目 9：00～19：40、2 日目 9：00～18：25

2025年度 履修証明プログラム (科目等履修生) 履修科目登録表

②-4

※は記入しないでください。

※学籍番号		※受験番号	25
-------	--	-------	----

氏名	
----	--

【災害ソーシャルワークの実践と展開】

受講する科目の登録欄に○を付け、合計時間数をご記入ください。

科目名	開講形態	時間数 (h)	受講料 (円)	開講日	開講地	会場	
<input type="checkbox"/> 選択 環境論※1	T	—	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/> 選択 災害復興の制度と法※1	T	—	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/> 選択 地域福祉と包括的支援体制	O	22.5	24,800	—	—	—	
<input type="checkbox"/> 選択 ヒューマンケアのための多職種連携	O	11.25	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/> 選択 ふくしと減災コミュニティ	O	11.25	12,400	—	—	—	
<input type="checkbox"/> 選択 福祉現場の人材養成	S	17.5	17,400	9月20日(土)～9月21日(日)	広島	広島国際会議場	
				11月22日(土)～11月23日(日)	名古屋	明治安田生命名古屋ビル(予定)	
<input type="checkbox"/> 選択 単身世帯と社会政策	S	17.5	17,400	5月31日(土)～6月1日(日) ※5月1日以降に出願の方は申込できません。	東京	ビジョンセンター東京京橋	
				12月13日(土)～12月14日(日)	オンライン	Zoom	
<input checked="" type="checkbox"/> 必修 地域福祉と災害ソーシャルワーク	S	17.5	17,400	7月12日(土)～7月13日(日) ※6月16日以降に出願の方は申込できません。	金沢	金沢商工会議所	
				8月23日(土)～8月24日(日) ※8月1日以降に出願の方は申込できません。	東京	ビジョンセンター東京京橋	
<input checked="" type="checkbox"/> 必修 被災者支援と福祉防災に向けた実践演習(注1)	S	17.5	27,400	1月17日(土)～1月18日(日)	名古屋	ウインクあいち	

※1 履修証明の時間数の合計には含まませんが、履修を推奨する科目です

履修証明プログラムを終了するには、合計 60 時間以上の履修が必要となります。60 時間以上を満たしていない場合は、次年度に不足時間分の履修が必要となります。

合計時間数 (登録欄に○をつけた科目の合計時間数を記入ください)	時間
-------------------------------------	----

(注1) 履修要件があります。履修要件については募集要項をご確認ください。クラス制開講科目となります。

※ 必修：必修科目 選択：選択科目

※開講形態 T：テキスト科目、O：オンデマンド科目 (e-learning)、S：スクーリング科目

※同一科目で複数日程がある場合は、いずれかの日程を選択して履修してください。

※スクーリング受講時間：1日目9：00～19：40、2日目9：00～18：25

年 月 日

日本福祉大学学長 殿

2025年度 推 薦 状

下記の出願者について、日本福祉大学福祉経営学部（通信教育）履修証明プログラム（科目等履修生）への入学を強く希望しておりますので、推薦します。

記

2025年度入学希望者氏名 _____

1. 推薦者の方と入学希望者の関係

--

2. 推薦理由（可能な範囲で結構ですので、本人の学習意欲・志望動機などについて、記入してください。）

--

3. 推薦者

在学時学籍番号			
同窓会員ID番号 （同窓生のみ）	卒業年月 （同窓生のみ）	年	月
推薦者氏名	（旧姓）		
学部学科名	学部	学科	
現住所（自宅） 電話番号	〒 Tel（ ） -		
勤務先名称			

※本学教職員は、勤務先名称に所属を記載してください。

（ご利用される方は次のページも必ずお読みください）

(ご利用される方は必ずお読みください)

日本福祉大学同窓会員推薦による学費等の減免について

日本福祉大学福祉経営学部（通信教育）

2025年度の出願者および入学者を対象に、日本福祉大学同窓会員推薦制度を適用しております。この制度を用いて、下記のとおり出願手続きを行えば、学費等が減免されます。

1. 学費等の減免について

- 日本福祉大学同窓会会員・準会員（教職員・本学在學生等（※2））および日本福祉大学同窓会員に準ずる者（※3）、の推薦があり入学する場合は、入学選考料が無料になり、入学金が半額となります。

※1 ただし、推薦者と同一年度の入学は対象としません。

※2 「本学在學生」とは、通信教育課程正科生、通学課程、大学院課程に在学している学生すべてを指します。「教職員」とは、退職された方も対象となります。

※3 日本福祉大学同窓会員に準ずる者は次に掲げる者とする。

- 1 日本福祉大学非常勤講師
- 2 株式会社エヌ・エフ・ユー職員
- 3 その他本通信教育課程が認める者

（「通信教育課程が日本福祉大学同窓会員に準ずる者を定める内規」より）

※4 科目等履修生や特修生の方は対象外となります。

2. 推薦の条件について

- (1) 学習目標が明確で、学習意欲が高い方。
- (2) 入学後も推薦者と連携をとり、日常的に学習や学生生活等のアドバイスが受けられる方。
- (3) 正科生を卒業後は、日本福祉大学同窓会へ入会し、推薦者と共に日本福祉大学同窓会の諸活動に積極的に貢献する方。

3. 手続き方法について

- (1) 本書表面の「③推薦状」を推薦者直筆でご記入のうえ、出願必要書類に同封して郵送してください。出願後の提出は受付致しかねます。
- (2) 推薦状を同封する場合、入学選考料が免除されますので、選考料の振り込みは必要ありません。
(入学金は、大学からの請求時に半額とします。)
- (3) コピー不可。本学所定用紙の受付に限ります。

4. 推薦状の記入について

- (1) 同窓生の方は、日本福祉大学同窓会員 ID 番号を必ず記入してください。1985年以降の卒業生の方は、在学時の学籍番号が同窓会員 ID 番号です。番号がわからない場合は、日本福祉大学同窓会事務局（電話：052-242-3051 または電子メール：alumni@ml.n-fukushi.ac.jp）まで、お問い合わせください（事務取扱時間は、月～金曜日 10:00～15:00）。
- (2) 推薦理由は、上記 2. の条件を満たしていることを説明する内容を、明記してください。

(封筒の表面に張りつけてお使いください)

速達

郵便局の窓口へお持ちいただき、速達と簡易書留の送付手続きを行ってください。

4 7 0 3 2 9 5

愛知県知多郡美浜町奥田

日本福祉大学 通信教育部事務室 履修証明プログラム (科目等履修生) 入学担当 行

折曲厳禁

簡易書留

2025年度履修証明プログラム(科目等履修生)
出願書類在中

フリガナ 氏名		※本学記入欄 25
住所	〒 -	TEL () -

出願書類に不備があると、受付できません。

※事前に必ず提出する出願書類を確認し、チェック欄に✓印を記入して、封入(のり付け)してください。

※不着等の事故を防止するため、必ず「速達・簡易書留」で郵送してください。

※簡易書留の控えは、出願書類受付票を受け取るまで保管してください。

※①-1 入学志願書・在学誓書の捺印を確認してください。 ※本学所定用紙は折り曲げないでください。

※この封筒は、2025年9月1日以降は使用できません。

出願書類チェックリスト		チェック欄	大学記入欄
必須	① -1. 2025年度入学志願書(学籍原簿)・在学誓書(写真貼付・捺印)		
必須	① -2. 2025年度入学志願書(学籍原簿)・在学誓書(検定料振込証明貼付)		
必須	① -3. 2025年度履修証明プログラム(科目等履修生)志望理由書		
該当する箇所 必須	② -1. 2025年度履修証明プログラム(科目等履修生)履修科目登録表【精神・発達障害者の就労と生活支援】		
	② -2. 2025年度履修証明プログラム(科目等履修生)履修科目登録表【認知症とともに生きるを支える】		
	② -3. 2025年度履修証明プログラム(科目等履修生)履修科目登録表【アディクションと生きる人への理解とかかわり】		
	② -4. 2025年度履修証明プログラム(科目等履修生)履修科目登録表【災害ソーシャルワークの実践と展開】		
該当者のみ提出	③ 2025年度 推薦状		
必須	④ 郵便はがき(郵便番号・住所・氏名記入)		
必須	⑤ 入学資格証明書類		
該当者のみ提出	⑥ 姓名変更を証明する書類		
該当者のみ提出	⑦ 卒業生、もしくは在籍していた証明書(卒業証明書(学位記)・学生証・科目等履修生証・特修生証のコピー、在籍期間証明書、科目等履修生修了証・特修生修了証のコピー、同窓会カードのコピー等)		